

## 湯 海鵬 先生 経歴・業績



---

### 経 歴

---

1957年 2月 中国 四川省成都市生まれ

#### I 学歴

1975年 7月 四川省 成都市百花潭中学校・高校  
卒業  
1978年 3月 四川師範大学物理学部 入学  
1982年 2月 四川師範大学物理学部 卒業  
1982年 3月 中国 大連外国語学院 留学予備校  
入学  
1982年 10月 中国 大連外国語学院 留学予備校  
修了  
1982年 10月 中国国費留学生で来日  
1982年 10月 筑波大学 体育科学研究科 研究生  
入学  
1983年 3月 筑波大学 体育科学研究科 研究生  
修了  
1983年 4月 筑波大学 体育科学研究科 博士課程

入学

1988年 3月 筑波大学 体育科学研究科 博士課程  
修了 (教育学博士)

#### II 職 歴

1975年 9月 四川省 雅安地区 名山県 紅星人民公  
社 社員  
1988年 4月 筑波大学 体育センター 文部技官 (ス  
ポーツ実習担当)  
1990年 4月 富山県立大学 助手 (健康科学担当)  
1996年 10月 愛知県立大学 助教授 (基礎技能 (体  
育), 健康科学, スポーツ実践演習担当)  
2005年 4月 愛知県立大学 教授  
2012年 7月 上海大学 客員教授  
2015年 9月 四川師範大学 客員教授

---

**業 績**

---

**I 博士学位論文**

空中における身体の腕一捻りに関する生力学的研究, 1988.

**II 著 書**

**①学術著書**

- 1) 湯 海鵬 (共著): 世界一流陸上競技者の技術, ベースボールマガジン社, 1994.
- 2) 湯 海鵬 (共著): バイオメカニクス—身体運動の科学的基礎—杏林書院, 2004.
- 3) 湯 海鵬 (共著): 進化する運動科学の研究最前線, NTS, 2015.
- 4) 湯 海鵬: 羽毛球物語—伝説与童話編織の羽毛球100年—, NTS, 2021.

**②教科書**

- 1) 湯 海鵬 (共著): 走近中国—初級中国語実用課文—, 隆美出版社, 2001.
- 2) 湯 海鵬 (共著): ゆうゆう中国語, 郁文堂, 2002.
- 3) 湯 海鵬 (共著): やさしい中国語—你好, 中国!, 白帝社, 2003.
- 4) 湯 海鵬 (共著): 一回一課で着実にマスター! 初級中国語, 白帝社, 2009.
- 5) 湯 海鵬 (共著): 楽しい—キャンパスライフ, 白帝社, 2014.

**III 論 文**

**①学会誌・学会論集**

- 1) 橋原孝博, 渋川侃二, 阿江通良, 石島 繁, 横井孝志, 川端昭夫, 趙 孝九, 湯 海鵬: 一流バレーボール選手のスパイク動作—打撃動作に着目して—, 星川 保, 豊島進太郎 (編) 走・跳・投・打・泳運動における“良い動き”とは, 第7回日本バイオメカニクス学会大会論文集, 151-155, 1984.
- 2) 湯 海鵬, 渋川侃二, 阿江通良, 横井孝志, 趙 孝九, 川端昭夫, 裴 永相: 空中における宙返り回転からの捻りの発生, 石井喜八 (編), 動きのコツを探る, 第8回日本バイオメカニクス学会大会論文集, 89-92, 1987.
- 3) 湯 海鵬, 程 国慶: DLT 法—三維空間的運動

生物力学撮影技術—, 体育科学 (中国) 8-3, 62-64, 1988.

- 4) 湯 海鵬, 渋川侃二, 阿江通良, 横井孝志: 固定座標系に対する3次元の人体角運動量の計算法, 渡辺和彦 (編), スポーツパフォーマンスの環境, 第9回日本バイオメカニクス学会大会論文集, 170-173, 1989.
- 5) 湯 海鵬, 渋川侃二, 阿江通良, 横井孝志: 空中における身体の捻り発生に関する研究, 体育学研究 34-3, 227-234, 1989.
- 6) 湯 海鵬, 渋川侃二, 阿江通良, 横井孝志: 空中における身体の腕一捻りに関する研究, バイオメカニズム 10, 107-118, 1990.
- 7) 湯 海鵬, 渋川侃二, 熊本水頼, 阿江通良: 宙返り—捻りのコンピュータ・シミュレーション, 日本バイオメカニクス学会 (編), ジャンプ研究, 74-79, 1990.
- 8) 湯 海鵬: 空中における身体の回転運動の映像解析, Japanese Journal of Sports Sciences, 10-3, 204-212, 1991.
- 9) 湯 海鵬, 熊本水頼, 阿江通良: 跳馬における空中回転局面のシミュレーション, バイオメカニズム 11, 123-131, 1992.
- 10) 阿江通良, 湯 海鵬, 横井孝志: 日本人アスリートの身体部分慣性特性の推定, バイオメカニズム 11, 23-33, 1992.
- 11) 湯 海鵬, 阿部一佳, 加藤幸司: バドミントンのスマッシュ動作の3次元動作解析—ラケットの動きを中心に—, 動きとスポーツの科学, 第11回日本バイオメカニクス学会大会論文集, 74-80, 1992.
- 12) 熊本水頼, 大島 徹, 湯 海鵬: 二関節筋機能の機械的モデルによる解析, 動きとスポーツの科学, 第11回日本バイオメカニクス学会大会論文集, 153-157, 1992.
- 13) 湯 海鵬, 阿部一佳, 加藤幸司: バドミントンのスマッシュ動作の3次元動作解析—前腕と手関節の動きを中心に—, 体育学研究 38-4, 291-298, 1993.
- 14) 湯 海鵬, 阿部一佳, 加藤幸司, 阿江通良: バドミントンにおけるスマッシュ動作の3次元解析—肩, 上腕および肘の動きを中心に—, Japanese Journal of Sports Sciences, 13-1, 91-99, 1994.
- 15) 湯 海鵬, 熊本水頼, 陸 愛雲, 阿江通良: 中国

- 人アスリートの身体部分係数の算出, 実用化及び日本人アスリートとの比較, 体育学研究 38-6, 487-499, 1994.
- 16) 湯 海鵬, 阿江通良: バドミントンのスマッシュ動作の3次元動作解析—腕とラケットの速度を中心に—, バイオメカニクス学会誌 18-3, 164-172, 1994.
  - 17) 湯 海鵬, 阿江通良: バドミントンのスマッシュ動作における腕運動のメカニズム, バイオメカニクス 12, 73-84, 1994.
  - 18) Hai-peng Tang, Kazuyoshi Abe, Kouji Katou and Michiyoshi Ae: Three-dimensional Cinematographical analysis of the badminton forehand smash: upper limb movement during badminton forearm smash. *Science and Racket Sports*, 113-118, 1994.
  - 19) 湯 海鵬: 腕の速度と角速度から見たバドミントンのスマッシュ動作, 第12回日本バイオメカニクス学会大会論文集, 96-101, 1995.
  - 20) Guo Han-Qin, Hai-peng Tang: The training system for tennis players in China. *Japanese Journal of Tennis Sciences*, 3, 1-3, 1995.
  - 21) 湯 海鵬: 3次元的身体角運動量の算出法, 体育学研究 40-3, 161-169, 1995.
  - 22) Hai-peng Tang: A kinematic analysis of world class female distance runners. "Sport and Man: Creating a New Vision". *Proceedings FISU/CESU Conference. The 18th Universiade 1995 Fukuoka*, 1995.
  - 23) 湯 海鵬: 捻りながら跳ぶ—動物と人間の捻り運動のメカニズム—, バイオメカニクス学会誌 20-2, 24-31, 1996.
  - 24) 湯 海鵬: 角運動量保存から見たバドミントンのスマッシュ動作, バイオメカニクス 13, 32-39, 1996.
  - 25) 湯 海鵬: 機械的エネルギーからみた一流女子長距離ランナーの疾走フォームに関する研究, *Japanese Journal of Sports Sciences*, 15-6, 415-420, 1997.
  - 26) 湯 海鵬, 笹原英夫, 紀 秋仲: 女子800mランナーのランニングフォームの分析—岡本選手と曲雲霞選手との比較を中心に—, 体育学研究 41-5, 380-388, 1997.
  - 27) 湯 海鵬, Jia Tian: エリート中距離選手のランニングフォームの比較, 第13回バイオメカニクス学会論文集, 189-194, 1997.
  - 28) Hai-peng Tang, Jia Tian, Minayori Kumamoto, Michiyoshi AE: Estimation of inertia properties of the body segments in gymnasts. *Medical and Gymnastic Sciences*, 23-28, 1997.
  - 29) 湯 海鵬, 豊島進太郎: 2次元DLT法の応用, 問題点及び精度, バイオメカニクス研究 1-1, 23-29, 1997.
  - 30) 湯 海鵬, 笹原英夫, 田 佳: 世界一流女子長距離ランナーのランニングフォームに関する事例的研究, *Journal of Training Science*, 9-1, 51-58, 1997.
  - 31) 湯 海鵬, 豊島進太郎: 慣性モーメントから見たランニングのフォーム, バイオメカニクス研究 2-2, 92-98, 1998.
  - 32) 湯 海鵬, 豊島進太郎: 介護動作のバイオメカニクス, 第14回日本バイオメカニクス学会論文集, 90-94, 1999.
  - 33) 湯 海鵬, 豊島進太郎, 星川 保: 介護動作のバイオメカニクス的研究, 第14回日本バイオメカニクス学会論文集, 148-151, 1999.
  - 34) 岡本 敦, 豊島進太郎, 湯 海鵬, 星川 保: 高齢者の背臥位からの立ち上がり動作の三次元解析, 第14回日本バイオメカニクス学会論文集, 98-103, 1999.
  - 35) 豊島進太郎, 湯 海鵬, 星川 保: 加齢による動作の退行に関する研究, 第14回日本バイオメカニクス学会論文集, 104-109, 1999.
  - 36) 湯 海鵬: 三次元映像解析法と一流選手のパフォーマンス, *体育方法研究* 8, 88-96, 2000.
  - 37) 湯 海鵬: バドミントンにおけるスナップ動作, バイオメカニクス研究 4-2, 57-63, 2000.
  - 38) Tang Hai Peng, Deng Xiu and Shintaro Toyoshima: Evaluation of nursing technique from the viewpoint of mechanical work. *New Paradigms of Sport & Physical Education in the 21st Century*. 1035-1038, 2000.
  - 39) 湯 海鵬, 溝口正人, 豊島進太郎: 40mm卓球ボールの打撃特性, 体育学研究 47-2, 155-162, 2002.
  - 40) 湯 海鵬, 豊島進太郎, 星川 保: 高齢者の歩行動作—死亡1年前の歩行動作の退行について, バイオメカニクス学会誌 26-1, 40-44, 2002.
  - 41) Hai-peng Tang, Masato MIZOGUCHI and Shintaro TOYOSHIMA: Speed and spin characteristics of the 40 mm table tennis ball. *Table Tennis Sciences*, Vol. 4,

279-284, 2002.

- 42) 湯 海鵬, 豊島進太郎, 星川 保: 車椅子への移乗介護動作に関する Kinematics 的研究, バイオメカニズム学会誌 27-1, 37-44, 2003.
- 43) 湯 海鵬, 豊島進太郎, 岡本 敦, 川端昭夫, 星川 保: 老いと「歩き方」—7年間の縦断的な測定を中心に—, 東海体育科学 25-2, 25-28, 2003.
- 44) 湯 海鵬: 巧みな歩行と腕振り, 体育の科学 56-3, 156-161, 2006.
- 45) 湯 海鵬, 豊島進太郎, 岡本 敦, 川端昭夫, 谷口裕美子, 星川 保: 階段昇降トレーニングが歩行能力に及ぼす影響, 体育の科学 56-9, 748-753, 2006.
- 46) 湯 海鵬, 豊島進太郎, 岡本 敦, 川端昭夫, 星川 保: 8年間における高齢者の歩行動作の変化, バイオメカニズム学会誌 31-1, 37-44, 2007.
- 47) 溝口正人, 湯 海鵬, 卓球ボールの規則変更による影響—40mm ボールの打撃特性, スポーツ工学 3, 1-4, 2008.
- 48) 湯 海鵬, 豊島進太郎, 岡本 敦, 金謙 樹, 星川 保: 高速動作における動的安定性: バイオメカニズム学会誌 34-4, 333-338, 2010.
- 49) 金謙 樹, 湯 海鵬, 岡本 敦, 金謙 蓉, 岡本敦, 豊島進太郎: 歩行訓練と下肢筋力トレーニングに伴う下腿義足歩行動作改善の1例, 体育学研究 56, 193-200, 2011.
- 50) 湯 海鵬, 金謙 樹, 黒須雅弘, 豊島進太郎: 下腿義足の装着前後における運動能力の比較, 体育の科学 62-6, 41-46, 2012.
- 51) 湯 海鵬, 金謙 樹, 黒須雅弘, 豊島進太郎: 中高年者における定期的・持続的なスポーツ活動が運動能力に与える影響—8年間における縦断的な追跡から, バイオメカニズム学会誌 37-2, 127-133, 2013.
- 52) 湯 海鵬, 金謙 樹, 豊島進太郎: 歩行・走行における下肢動作の左右差と一側優勢, スポーツ健康学研究 38, 43-48, 2016.
- 53) 張 禎, 邵 健雄, 湯 海鵬: 色光環境が身体運動能力に及ぼす影響—昼光色 LED と赤色 LED との比較, 日本色彩学会誌 41-3, 85-90, 2017.
- 54) 邵 健雄, 張 禎, 金謙 樹, 藤巻裕昌, 湯 海鵬: バドミントンのストロークにおける予測に関する研究, バイオメカニズム学会誌 43-2, 134-139, 2019.

## ②研究紀要・報告

- 1) BAE Y S., SHIBUKAWA K., ISHIJIMA S., AE M., MATSUSHITA M., YOKOI T., TANG H. and KAWABATA A. “A Comparative Study on “Dolryeochagi (Round-house kick)” between Taekwondo and Karate”, Asian Games Scientific Congress Organizing Committee. 1025-1030, 1987.
- 2) 湯 海鵬, 熊本水頼, 宮丸凱史, 阿江通良: 中国・日本成人男子の身体部分係数の算出及び比較, 富山県立大学工学部紀要 1, 19-24, 1991.
- 3) 湯 海鵬, 熊本水頼, 吉澤正尹: カヤック漕法のコンピューターシミュレーション, 日本体育協会スポーツ医・科学研究報告, 第14報, 225-229, 1991.
- 4) 大木昭一郎, 寄金義記, 湯 海鵬ら: 正課体育と生涯スポーツに関する調査報告, 大学体育研究 13, 85-148, 1991.
- 5) 湯 海鵬, 熊本水頼, 陸 愛雲, 阿江通良: 中国人女子アスリートの身体部分係数の算出及び日本人との比較, 富山県立大学工学部紀要 3, 97-101, 1993.
- 6) 湯 海鵬, 熊本水頼: 3種類の身体部分慣性特性の比較, 富山県立大学工学部研究紀要 4, 44-50, 1994.
- 7) 湯 海鵬: 角運動量保存から見た打つ動作の特性, 富山県立大学工学部研究紀要 5, 50-55, 1995.
- 8) 湯 海鵬, 豊島進太郎: 世界一流長距離ランナーの重心の動きに関する研究, 愛知県立大学文学部論集 (一般教育編) 45, 5-10, 1997.
- 9) 湯 海鵬, 豊島進太郎: 体操選手の身体部分係数の算出及び実用化: 愛知県立大学論集 32, 37-42, 1999.
- 10) 湯 海鵬: トップアスリートのパフォーマンス～中・距離走のバイオメカニクス～, 中京大学体育研究所紀要 13, 85-90, 1999.
- 11) 鄧 秀, 湯 海鵬: 関於応用英語来補助日本大学生学習漢語的探討, 漢語教学研究 3, 2-7, 2000.
- 12) 湯 海鵬: 介護動作のバイオメカニクスの研究—エネルギーを中心に—, デサントスポーツ科学 21, 43-50, 2000.
- 13) 湯 海鵬, 豊島進太郎: 介護動作における上半身起こしと車椅子への移乗に関するバイオメカニクスの研究, 愛知県立大学社会福祉研究 3-1, 23-

- 29, 2001.
- 14) 湯 海鵬, 川端昭夫: 加齢に伴う高齢者動作の変化(退行)に関する研究, 中京大学体育研究所紀要 16, 52-57, 2002.
  - 15) 豊島進太郎, 湯 海鵬: 高齢者の脚力について—膝挙上体操トレーニングの足踏み運動への影響—, 社会福祉研究 6, 29-34, 2004.
  - 16) 湯 海鵬: 人間の下肢運動のメカニズムを探る—高齢者の歩行と足踏み動作から—, 中京大学体育研究所紀要 19, 113-117, 2005.
  - 17) 川端昭夫, 湯 海鵬: 高齢者の動作に関する研究—高齢者の足踏み運動の動作特性とそのリズム性について—, 中京大学体育研究所紀要, 21, 1-11, 2007.
  - 18) 邵 健雄, 張 禎, 金謙 樹, 湯 海鵬: 羽毛球種予測能力の相關研究, 中国体育科学学会 2013年全国競技体育科学論文報告会論文集, 156-159, 2013.
  - 19) 邵 健雄, 張 禎, 金謙 樹, 湯 海鵬: バドミントンにおけるオーバーヘッドストレークの予測能力に関する研究, 人間発達学研究 5, 1-8, 2014.
  - 20) 邵 健雄, 張 禎, 金謙 樹, 湯 海鵬: 色彩環境の変化が身体運動能力に及ぼす影響, 人間発達研究 5, 23-29, 2014.
  - 21) 湯 海鵬: 体育スポーツから介護福祉・健康づくりへの貢献を目指して—高齢化社会における体育スポーツ科学の課題と貢献—, 生涯発達学研究 7, 19-24, 2015.
  - 22) 張 禎, 邵 健雄, 湯 海鵬: 色彩環境の変化が走運動の心拍数に及ぼす影響, 人間発達研究 6, 61-66, 2015.
  - 23) 邵 健雄, 張 禎, 金謙 樹, 湯 海鵬: バドミントンにおけるプレイヤーの競技レベルが相手の予測に与える影響, 人間発達学研究 6, 11-15, 2015.

- 24) Hai-peng TANG: A Review of the Stability of Lower Limbs During the Human Locomotion, Bulletin of The Faculty of Education and Welfare Aichi Prefecture University. 64, 69-75, 2016.

#### IV 国際学会発表・招待講演

計13回, 第一発表者 11回

#### V 国内学会発表・招待講演

計80回, 第一発表者 57回

#### VI 学会活動

- 1) 国際バイオメカニクス学会
- 2) 日本体育学会
- 3) 日本バイオメカニクス学会
- 4) 日本バイオメカニクス学会
- 5) 日本テニス学会
- 6) 日本トレーニング科学会
- 7) 日本バドミントン学会
- 8) 日中教育研究会

日本バイオメカニクス論文賞

北京体育大学学报 編集員

体育学研究、バイオメカニクス研究 論文審査員

#### VII 科学研究費助成金

平成11-12年, 代表: 三次元映像解析法が動作解析における応用, 奨励研究

平成17-19年, 代表: 連続足踏み動作からみた人間の下肢運動のメカニズム, 基盤研究C

平成20-22年, 代表: 人の下肢動作の安定性と左右差, 基盤研究C

平成23-24年, 代表: 人の下肢動作における時間的安定性と疲労特性, 基盤研究C

平成26-29年, 代表: 身体運動における上肢と下肢の左右差と上肢と下肢の協調性, 基盤研究C